

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

目 次

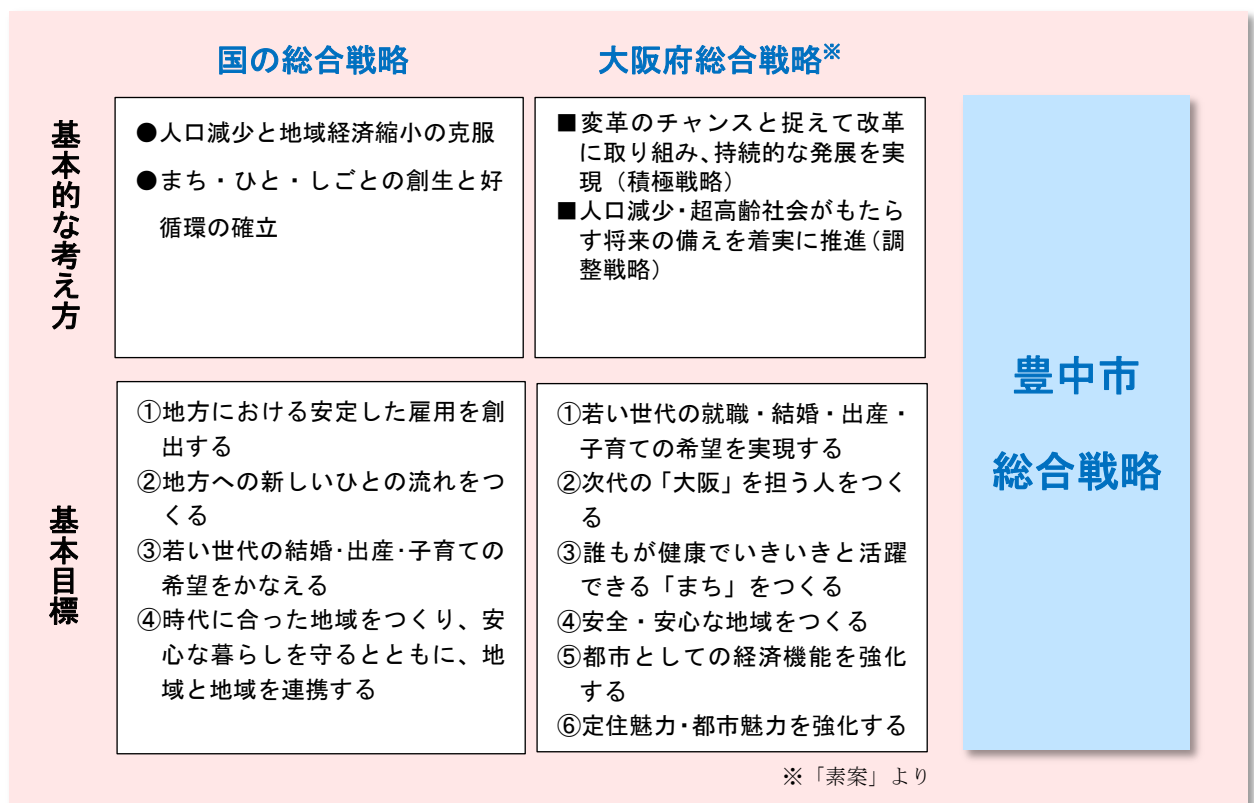
1. 基本的な考え方	1
(1) はじめに	1
(2) 目的	2
(3) 位置付け	2
(4) 計画期間	2
(5) 進行管理	3
2. 基本目標	4
3. 施策体系	5
4. 基本的方向と具体的施策・重要業績評価指標（KPI）	7
基本目標（1）“住みたい”“訪れたい”魅力あふれるまち とよなか	7
基本目標（2）働く場をつくるまち とよなか	10
基本目標（3）地域でつながり支え合うまち とよなか	12
基本目標（4）安心して産み育てられるまち とよなか	14
基本目標（5）子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか	17

1

基本的な考え方

(1) はじめに

- 人口減少時代の到来にあたり、国では平成27年度(2015年度)～31年度(2019年度)の政策目標・施策をまとめた『まち・ひと・しごと創生総合戦略』(以下「国の総合戦略」という。)を策定しました。(平成26年(2014年)12月)
- 国の総合戦略の推進では、国と地方が一体となり、中長期的視点に立って人口減少克服と地方創生に取り組む必要があるため、すべての都道府県及び市町村において「地方人口ビジョン」とともに、「地方版総合戦略」の策定に努めることが求められています。
- 豊中市においても、国・府の総合戦略を踏まえ、『豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略』(以下「豊中市総合戦略」という。)を策定するものです。豊中市総合戦略では、『豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』(以下「豊中市人口ビジョン」という。)を踏まえ、今後5か年に戦略的に取り組む基本目標、基本的方向、具体的な施策、重要業績評価指標(KPI)および主な取り組みをまとめています。

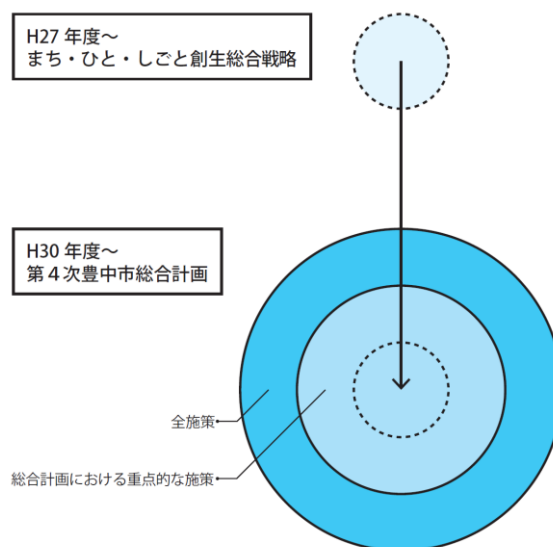


(2) 目的

- 第3次豊中市総合計画では、「人と地域を世界と未来につなぐまちづくり」という基本理念のもと、一人ひとりの人権を尊重するという考え方を根幹とし、安心・安全対策、福祉の充実、環境保全などを推進してきました。
- 豊中市総合戦略では、第3次豊中市総合計画を基本としながら、豊中市人口ビジョンの将来の方向性である「**まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる**」の実現に向け、豊中市が有する強みを維持・向上するための取組みを進め、今後の人口減少、少子高齢化に歯止めをかけます。
- 人口減少・超高齢社会の到来を迎える中、豊中市においても将来的に人口が減少し、高齢化が急速に進むと予想されます。そういった将来に備え、あらゆる世代が活躍できる、魅力あふれるまちとしてあり続けるためには、特に、子育て・子育て支援の充実や雇用の創出など、若い世代に向けた取組みを進めていく必要があります。
- 良好な住宅都市、教育（育ちと学び）・文化や医療・福祉などの基盤となる環境、多様な市民活動や地域活動の展開など、本市が有する地域資源や市民力・地域力を活かしていくとともに、新たな魅力や価値をつくりだし、豊中市の都市ブランドの向上を図ることで、豊中市への新たな人の流れへとつなげる取組みを進めます。

(3) 位置付け

- 豊中市総合戦略は、政策推進上の重点施策として進めていきます。また、平成29年度(2017年度)に『第4次豊中市総合計画』の策定を予定していることから、豊中市総合戦略で掲げた施策は、進捗状況に応じて見直しを図り、次期総合計画に位置付けます。



(4) 計画期間

- 豊中市総合戦略の計画期間は、平成27年度(2015年度)から平成31年度(2019年度)までの5年間とします。

(5) 進行管理

- 計画策定にあたっては、基本目標および重要業績評価指標（KPI）を設定します。
- 豊中市総合戦略に掲げた施策を着実に実施し、基本目標を達成していくために、P D C Aサイクルによる進行管理を行います。
- 客観性・透明性を確保するために、新たに外部有識者等による検証機関を設置します。
- 検証機関は、基本目標の数値目標や具体的施策に係るK P Iの達成度を検証し、必要に応じて、総合戦略の見直しの提言を行います。
- 市は、検証機関による検証結果等を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて、総合戦略を改定します。
- P D C Aサイクルの期間は、原則、1年間とします。

2

基本目標

豊中市人口ビジョンの将来の方向性 「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」 に基づき、まち・ひと・しごとを創生していくため、次の5つの基本目標を定めます。

「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」

基本目標(1)

“住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか

基本目標(2)

働く場をつくるまち とよなか

基本目標(3)

地域でつながり支え合うまち とよなか

基本目標(4)

安心して産み育てられるまち とよなか

基本目標(5)

子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか

3

施策体系

5つの基本目標に対する基本的方向と具体的施策の関係は次の通りです。

基本目標	基本的方向	具体的施策
基本目標(1) “住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか	ア まちの拠点整備	① 千里中央地区 プロジェクト
		② 中心市街地地区 プロジェクト
		③ 南部地域プロジェクト
	イ 都市の魅力を つなぐ・活かす	① 良好な住環境を 次世代につなぐ
		② 大阪国際空港を活かした まちづくりの推進
		③ “音楽あふれるまち豊中” の推進
基本目標(2) 働く場をつくるまち とよなか	ア 産業振興と働く場づくり	① 空港周辺地区への 企業立地の促進
		② 地域産業の活性化
		③ 起業とその後の 事業継続の促進
基本目標(3) 地域でつながり 支え合うまち とよなか	ア 安心して暮らせる まちづくり	① 地域コミュニティ 活性化推進事業
		② いつまでもいきいきと 暮らせる仕組みづくり

基本目標	基本的方向	具体的施策
<p>基本目標(4) 安心して産み育てられるまち とよなか</p>	<p>ア 安心して子どもを 産み・育てる環境づくり</p>	① 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり
		② 地域全体で子育て家庭を支える環境づくり
		③ 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども(家庭)への支援
	<p>イ ワークライフバランスの実現</p>	① 子育てと仕事の両立のための環境づくり
② 子育てと仕事の両立推進に向けた啓発		
<p>基本目標(5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか</p>	<p>ア とよなかで育つ・学ぶ</p>	① 子どもたちが健やかに育ち、学べる環境づくり
	<p>イ 安心して働く</p>	① 就労支援の充実

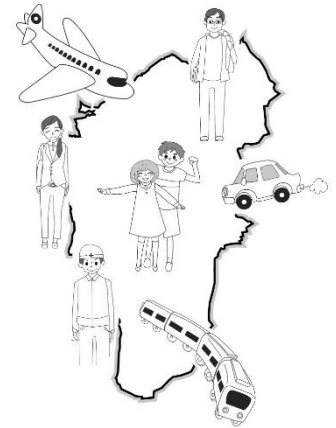
4

基本的方向と具体的施策・重要業績評価指標 (KPI)

5つの基本目標について、実現すべき成果に係る指標と数値目標を設定するとともに、基本目標を達成するための基本的方向と具体的施策・重要業績評価指標 (KPI) および具体的な取組みを下記の通り設定します。

基本目標(1) “住みたい” “訪れたい” 魅力あふれるまち とよなか

大阪国際空港や国土幹線道路などの広域交通網をはじめ、新大阪駅にも近いという立地特性や発達した地域公共交通のネットワークを活かしながら、拠点や地域の特性に応じた機能の充実を進めます。また、本市の魅力が次世代につなぎ・活かすことにより、自分らしく快適に生活できる環境づくりを市民・事業者・行政が連携しながら進めます。これにより、豊中の都市ブランドを支える様々な魅力や価値を高めるとともに、これを市内外に伝えることにより、豊中ブランドの向上を図り、定住人口や関西圏を訪れる人を増やすなど、豊中市へのさらなる人の流れへとつなげます。



指標	数値目標
社会増加数	6,000人増加(H27~H31の合計)
滞在人口(休日・14時の人口)	37万人(H26) → 維持(H31)

基本的方向

ア まちの拠点整備

豊中市において、多様なまちの個性は豊かなまちをつくる重要な資源です。それぞれの拠点・地域の特性や魅力を活かすことで、豊中市に住みたい、訪れたいと思える価値の創造を図ります。

イ 都市の魅力をつなぐ・活かす

豊中市には、多様な市民活動・地域活動により培ってきた文化があります。また、空港や大学などが立地しているという強みがあります。このような地域資源に育まれた魅力を次世代につなぎ、活かす取組みを進めます。

具体的施策と KPI

ア まちの拠点整備

① 千里中央地区プロジェクト

北大阪急行電鉄の延伸事業をはじめ、新名神高速道路の開通や万博跡地の再開発など、千里中央地区を取り巻く環境の変化を見据え、多様な機能が集積し、多くの人が集まりにぎわう北部大阪の都市拠点づくりをめざします。

KPI

○従業員数 15,819 人(H24)→維持(H31)

○乗降客数(北大阪急行電鉄・大阪モノレール「千里中央駅」) 126,708 人(H25)→維持(H31)

【主な取組み】 ◆千里中央地区活性化ビジョンの実現に向けた協働の取組み
・千里中央駅前広場再整備事業の推進

② 中心市街地地区プロジェクト

まちの歴史文化や景観、にぎわいなど、さまざまな魅力を活用・向上させ、中心市街地の再生を図ります。また、大阪国際空港に近いという立地を活かしたまちの活性化を進めます。

KPI

○乗降客数(阪急宝塚線「蛸池駅～服部天神駅」、大阪モノレール「蛸池駅」)

184,387 人(H25)→維持(H31)

【主な取組み】 ◆蛸池駅、豊中駅、岡町駅周辺エリア
・福祉会館・桜塚会館、母子父子福祉センターの再整備 など
◆曾根駅、服部天神駅周辺エリア
・服部天神駅東側歩路等の整備
・服部天神駅利倉東線の整備
・豊中ローズ球場及び豊島公園の再整備
・文化芸術センターの整備 など
◆“高校野球発祥の地”顕彰事業の推進

③ 南部地域プロジェクト

安全・安心の向上や公共施設・教育環境の再編等を進め、南部地域が元気になるまちづくりをめざします。

KPI

○まちなみに愛着と誇りを持っていると感じている市民の割合(南部) 48.1%(H25)→65%(H31)

○乗降客数(阪急宝塚線「庄内駅」) 32,080 人(H25)→維持(H31)

【主な取組み】 ◆(仮称)南部コラボセンター基本構想の推進
・大学、事業者、市民団体等と連携した南部地域のにぎわいづくり
◆大阪音楽大学周辺整備
◆庄内・豊南町地区住宅市街地総合整備事業
・木造住宅等の建替えや除却費補助による防災街区整備地区計画区域の不燃化促進
・大島町地区主要生活道路整備 など
◆都市計画道路 穂積菰江線と三国塚口線の整備

イ 都市の魅力をつなぐ・活かす

① 良好な住環境を次世代につなぐ

住宅・住環境に関する基本方針の策定や総合的な空き家対策の実施により、良好な住宅ストックの形成・維持・継承を図り、住宅都市としての魅力を次世代につなげていきます。

KPI	○住み続けたいと感じている市民の割合 83.8 (H25)→85% (H31)
	○腐朽・破損のある空き家の割合 26% (H25)→増加させない (H30)

【主な取組み】 ◆住宅・住環境に関する基本方針の策定
◆「総合的な空き家対策方針」の運用

② 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進

大阪国際空港のコンセッションの実施により、新たな事業展開の可能性が広がることから、運営権者等と積極的に連携を図りながら移転補償跡地を活用した空港周辺地域への企業立地の促進や、就航都市との交流事業など、空港を活かしたまちづくりを進めます。

KPI	○空港周辺地域の建物延床面積 1,333,846m ² (H25)→1,400,000m ² (H31)
	○市が協賛している空港のイベント数 12件 (H25)→15件 (H31)
	○就航都市との交流事業数 9事業 (H25)→12事業 (H31)

【主な取組み】 ◆空港周辺移転補償跡地の有効活用による地域再生
◆空港におけるイベントの開催などによるにぎわいの創出
◆就航都市との文化・スポーツ・産業・観光を通じた相互交流、連携強化

③ “音楽あふれるまち豊中”の推進

「文化芸術センター」をはじめ市内の豊富な文化資源を活用した取組みを進め、市が持つまちの魅力として“音楽あふれるまち豊中”を市内外に発信します。また、様々な主体との連携事業を継続して取り組むことで、「豊中ブランド」の一つとして市民に愛着を持ってもらい、心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与します。

KPI	○「豊中市は文化的なまちである」と感じている市民の割合 44.9% (H25)→50% (H31)
	○「音楽と身近にふれあえる機会があることが市の魅力」と感じている市民の割合 平成27年度実績から5%向上

【主な取組み】 ◆日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学等との連携事業
◆学校や市民団体など様々な主体との協働事業の展開

基本目標(2) 働く場をつくるまち とよなか

豊中市の活力を向上させるために、本市の立地を活かした企業誘致や働きやすい環境づくりを進めます。



指 標	数値目標
市内で働いている市民の割合	36.9% (H22) → 40% (H31)
付加価値額	3,895 億円 (H24) → 4,000 億円 (H31)
開業率	2.4% (H24) → 2.8% (H31)

基本的方向

ア 産業振興と働く場づくり

安定的な操業環境の確保や基盤整備の推進、起業・事業継続支援の充実など、企業を支援することにより豊中市に働く場を創出します。

具体的施策と KPI

ア 産業振興と働く場づくり

① 空港周辺地区への企業立地の促進

空港周辺の土地の有効活用や先導的事業の実施により、企業立地を促進します。

KPI	○企業立地促進条例の奨励金申請件数 15 件 (H25) → 20 件 (H31)
-----	---

- 【主な取組み】 ◆企業立地促進計画の推進
・地域再生計画の目標達成に向けた移転補償跡地等の有効活用の推進

② 地域産業の活性化

地域の産業・中小企業の振興を図り、各企業や事業所等の経営基盤の強化を支援します。

KPI	○市内事業所数 13,587 所 (H24) → 維持 (H31)
-----	-----------------------------------

- 【主な取組み】 ◆産官学金連携など異業種連携
◆市内事業者への支援(経営力強化)のための関係機関等との連携
◆地域の特性に応じた経営基盤強化の支援
◆「中小企業チャレンジ促進プラン」の推進
◆大阪大学と市内事業所のマッチング支援

③ 起業とその後の事業継続の促進

起業を思い立ったとき、実際に起業するときの支援、起業後の事業を軌道に乗せる支援をします。

KPI	○開業率 2.4% (H24) → 2.8% (H31)
-----	------------------------------

- 【主な取組み】 ◆とよなか起業・チャレンジセンターにおける起業支援
◆産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の推進

基本目標(3) 地域でつながり支え合うまち とよなか

「住宅都市とよなか」で心豊かに暮らせる環境は欠かすことができません。豊中市で自分の暮らしを創造し、地域で健やかに安心した暮らしができるような社会システムを整備していきます。



指 標	数値目標
ボランティア活動や市民活動に取り組んでいる人の割合	18% (H25) → 30% (H31)
住み続けたいと感じている市民の割合	83.8% (H25) → 85% (H31)

基本的方向

ア 安心して暮らせるまちづくり

地域力の向上やくらしの環境整備等により、安心して健やかに暮らせるまちづくりを実践します。

具体的施策と KPI

ア 安心して暮らせるまちづくり

① 地域コミュニティ活性化推進事業

地域のつながりの強化やまちの環境整備、地域課題の解決に取り組む人材の育成を通じて、安全・安心なまちづくりを促進します。

KPI	<ul style="list-style-type: none">○校区単位自主防災組織の組織率 56.1% (H25) →100% (H31)○地域自治組織の数 5 団体 (H27) →14 団体 (H31)○住居地区バリアフリー整備事業の進捗率 25% (H26) →87.5% (H31)○通学路交通安全点検の実施割合 100% (H24) →100% (H31)※ <p>※H24 から 3 年ごとに、市内の全公立小学校を対象に、通学路の安全点検を実施した小学校数の割合。</p>
------------	--

- 【主な取組み】
- ◆校区単位自主防災活動支援の充実
 - ◆地域自治システムの推進
 - ◆地域でのまちづくり活動の推進
 - ◆(仮称)とよなか大学院
 - ◆市民協働による生活道路のバリアフリー化の推進
 - ◆地域と連携した通学路交通安全プログラムの推進 など

② いつまでもいきいきと暮らせる仕組みづくり

いつまでもいきいきと健やかに暮らせるために必要な仕組みづくりやサービスの提供を促進します。

KPI	<ul style="list-style-type: none">○とよなか地域ささえ愛ポイント事業登録者数 777 人 (H25) →1,500 人 (H31)
------------	--

- 【主な取組み】
- ◆地域包括ケアシステム(豊中モデル)の構築
 - ・とよなか地域ささえ愛ポイント事業
 - ・地域福祉ネットワーク会議の開催 など

基本目標(4) 安心して産み育てられるまち とよなか

豊中市で安心して子どもを産み育てられるとともに、やりがいや充実感をもって多様な生き方が選択・実現できる環境づくりを進めます。



指 標	数値目標
子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合	57.4% (H25) → 60% (H31)
合計特殊出生率	1.37 (H22~H25 平均値) → 減少させない (H31)
女性就業率 (対象: 25 歳~44 歳)	55.9% (H22) → 60% (H31)

基本的方向

ア 安心して子どもを産み・育てる環境づくり

妊娠・出産をめぐる不安や子育ての悩みを解消・軽減し、豊中市で安心して子どもを産み、子育てできる環境を整えます。

イ ワークライフバランスの実現

子育てしながら、やりがいや充実感を持って働き、家庭や地域生活においても多様な生き方が選択・実現できるよう、仕事と生活の調和を図れるようにします。

具体的施策と KPI

ア 安心して子どもを産み・育てる環境づくり

① 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

妊娠・出産をめぐる不安を解消・軽減し、母子ともにすこやかに安心して出産できる環境づくりを進めます。

KPI	○妊娠届が満 11 週までに提出されない割合 5.2% (H25) → 0% (H31) ○こんにちは赤ちゃん(乳児家庭全戸訪問)面談率 91.4% (H25) → 100% (H31)
------------	--

- 【主な取組み】
- ◆妊婦健康診査の促進
 - ◆産後ケアの充実
 - ◆子育て・子育てにやさしい生活環境の確保(子育てバリアフリーの充実等)
 - ◆子育て家庭への経済的な支援(子ども医療費助成事業等)

② 地域全体で子育て家庭を支える環境づくり

保護者が子育てに喜びを感じることができ、子どもとともに成長できていると感じることができるよう、行政・地域・事業者など地域全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。

KPI	○子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 57.4% (H25) → 60% (H31)
------------	---

- 【主な取組み】
- ◆地域と連携した子育て支援(とよなか子育て応援団養成等)
 - ◆身近に集える地域の子育て・子育て支援の拠点づくり
 - ◆地域子育て・子育て支援ネットワークの充実 など

③ 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども(家庭)への支援

障害のある子ども、虐待を受けた子ども、ひとり親家庭の子どもなど、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子どもや、さまざまな状況から子育てに社会的な援助を必要とする家庭に対し、それぞれの状況に応じた継続的な支援を行う体制を整備します。

KPI	○子育てがしやすいまちであると感じている市民の割合 57.4% (H25) → 60% (H31)
------------	---

- 【主な取組み】
- ◆障害のある子どもへの支援の充実
 - ◆外国人市民の子どもや子育て家庭への支援の充実
 - ◆児童虐待防止策の総合的な推進
 - ◆ひとり親家庭への支援の充実 など

イ ワークライフバランスの実現

① 子育てと仕事の両立のための環境づくり

仕事と生活の調和がとれ、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めます。

KPI	○「仕事」と「仕事以外の生活」のバランスが取れていると感じている市民の割合
	小学校就学前児童のいる保護者 53.3% (H25)→60% (H31)
	小学校児童のいる保護者 61.8% (H25)→70% (H31)
	○待機児童数 253人 (H27)→0人 (H31)
○育児休業取得後職場復帰した割合 母親 66.9% (H25)→75% (H31)	

- 【主な取組み】
- ◆待機児童ゼロに向けた取組み(保育所整備等)
 - ◆多様な保育サービスの充実(利用者支援の充実等)
 - ◆放課後こどもクラブ事業の充実

② 子育てと仕事の両立推進に向けた啓発

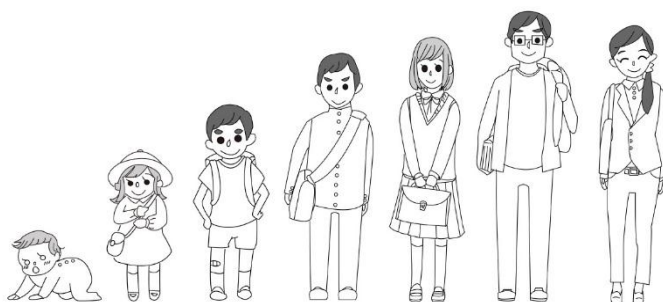
仕事と子育ての両立に向け、子育てや就労を支援する仕組みづくりを促進します。

KPI	○配偶者・パートナーとの家事・育児分担に満足している市民の割合
	小学校就学前児童のいる保護者 母親 60.1% (H25)→65% (H31)
	父親 64.7% (H25)→70% (H31)
	小学校児童のいる保護者 母親 54.9% (H25)→60% (H31)
	父親 58.6% (H25)→63% (H31)
○セミナー受講者のうち就業した人数 5年間で計200人	

- 【主な取組み】
- ◆ワークライフバランス推進事業の展開
 - ◆保護者・企業・事業所へのワークライフバランスの啓発 など

基本目標(5) 子どもが育ち・学び、社会で活躍するまち とよなか

未来を支える子どもたちが、豊中市で育ち、学び、「生きる力」を身につけた社会の担い手に成長できるよう、様々な取組みを進めます。



指 標	数値目標
将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合	小学校 84.8% (H26) → 100% (H31) 中学校 69.2% (H26) → 100% (H31)
全国学力・学習状況調査(小学校:国語 A・B, 算数 A・B 中学校:国語 A・B, 数学 A・B)の平均正答率	すべて全国平均を上回る
就業率	51.6% (H22) → 維持 (H31)

基本的方向

ア とよなかで育つ・学ぶ

次世代の地域社会を担う人材として、豊中市に住む子どもたちが、自らの個性や能力を存分に発揮し、育っていくことのできる環境を整えます。

イ 安心して働く

自分のもてる力を発揮し、生涯いきがいをもって暮らしを創造していくことができるよう、仕事との出会いを応援します。

具体的施策と KPI

ア とよなかで育つ・学ぶ

① 子どもたちが健やかに育ち、学べる環境づくり

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育環境の充実を図り、すべての子どもたちの個性や能力をのばしていく取組みを進めます。また、子どもたちが地域社会の一員として役割を果たすきっかけづくり、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を育む環境づくりを進めます。

さらに、誰にも相談できず、悩みを一人で抱え込んでいる子どもが、安心して容易に相談でき、一人ひとりの状況に応じた総合的な支援を行う体制を整備します。子どもや若者が結婚から子育てまで自分自身の将来を前向きに考えることができるような支援を行います。

KPI	○将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合	小学校：84.8% (H26)→100% (H31)
		中学校：69.2% (H26)→100% (H31)
	○悩みなどを相談できる人や場所がないと思う児童・生徒の割合	
		小学5年生：3.6% (H26)→0% (H31)
		中学2年生：4.0% (H26)→0% (H31)
		高校2年生：6.2% (H26)→0% (H31)

- 【主な取組み】
- ◆魅力ある学校づくり
・学校でのICT活用の推進 など
 - ◆市制施行 80 周年記念事業～総合計画策定における子どもの参画
 - ◆次世代を担う子どものこころの健康づくり人材育成
 - ◆子どもの社会参加の促進
 - ◆子どもの相談窓口体制の整備
 - ◆ライフデザイン支援

イ 安心して働く

① 就労支援の充実

雇用・就労を創出・応援する仕組みづくりとともに、継続的な雇用・就労へとつなげる様々な取組みを進め、若者をはじめとする市民が安心して就労できる環境づくりを促進します。

KPI	○若者就業率(対象:15歳~34歳)	52.9% (H22)→60% (H31)
	○一人当たり市税収入	16.6万円 (H25)→17万円 (H31)

- 【主な取組み】
- ◆地域就労支援・雇用創出事業
・空港就航都市等における農産物・水産物等を活用した魅力ある飲食店等開拓・育成関連事業 など
 - ◆若者就労・育成支援事業
・国内産皮革を用いたものづくり産業の若者職人育成事業 など

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年（2015 年）10 月

発行：豊中市政策企画部企画調整課

〒561-8501 豊中市中桜塚 3 丁目 1 番 1 号

電話 （06）6858-2525

ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>